

和 文 索 引

あ

アイバー・チェーン 83
 亜鉛メッキ鋼線 53, 85
 明石海峡大橋 7, 29, 32, 36, 37, 38, 40, 43, 44, 48, 49,
 54, 75, 112, 117, 127
 アクティブダンパー 67
 アンカーサドル 58
 アンカレイジ 59
 伊藤 23
 因島大橋 6, 41, 111, 127, 132
 ウィンドシュー 40
 渦励振 63
 エアスピニング工法(AS工法) 4, 14, 53, 55, 85, 105, 121
 影響線解法 20, 21
 淵牛館橋 6
 鉛直たわみ振動 23
 エンドリンク 35, 40
 応答スペクトル解析法 73
 応答スペクトル法 70
 大久保謙之丞 6
 大島大橋 6, 34, 36, 39, 49, 127, 129
 大鳴門橋 6, 29, 37, 40, 41, 49, 111, 127
 オープングレーチング 31
 大渡橋 84
 送り出し工法 128

か

海峡横断構想 8
 海上渡海工法 116
 解体計算 27
 海中渡海工法 116
 格点構造 37
 荷重増分法 18
 ガスト応答 63
 架設ヒンジ 132
 金谷橋 85

上吉野川橋 6, 107
 緩衝桁軌道伸縮装置 33
 関門橋 5, 29, 34, 41, 94, 111, 112, 127, 132
 起振機 79
 基礎モルタル充填工法 109
 北備讃瀬戸大橋 6, 29, 34, 39, 40, 41, 42, 111, 127
 キャットウォーク 107, 118
 ギャロッピング 63
 魚骨モデル 26
 清洲橋 4, 84
 均等分配法 21
 空中渡海工法 116
 倉西 18
 クリーパークレーン工法 109
 来島第一大橋 7, 110, 112
 来島第二大橋 7, 110, 112
 来島第三大橋 7, 110, 112
 ケーブルクレーン工法 128
 ケーブルステイ 40
 ケーブルの定着 56
 ケーブルの防食 57
 ケーブルバンド 57, 124
 ケーブル付属物 88
 限界風速 65
 検証実験 77
 懸垂曲線 13
 限定振動 63
 研磨工法 108
 高強度亜鉛メッキ鋼線 54, 85
 鋼格子床版 31
 鋼床版 31
 更新ラグランジェ定式化 23
 固有振動解析 26
 一法 22
 小鳴門橋 34
 此花大橋 127
 金比羅橋 85

—— さ ——

サイクル架設 133
 サイドステイ 41
 座屈設計 42
 サグ 13
 サドル 58, 88
 支圧伝達形式 48
 4月25日橋 4, 34, 70
 時刻歴応答解析法 73
 下津井瀬戸大橋 6, 34, 48, 111
 終局荷重係数 α_u 47
 終局耐荷力 47
 修正震度法 69
 主ケーブル 51
 主塔架設精度 113
 主塔基部 48
 主塔断面力 44
 主塔頂部 49
 主塔の座屈設計 45
 初期形状 29
 自励振動 63
 伸縮装置 41
 震度法 69
 スクイズ 123
 ステイ構造 40
 ストームケーブル 6
 ストームロープ 121
 スtrand 55, 88
 ーロープ 53, 85, 88
 ーシュー 56
 スパイラルロープ 53, 84, 88
 スプレーサドル 59
 制振装置 113
 設計風速 65
 接線剛性マトリックス 18, 23
 設置クレーン工法 113
 セットバック 120
 全橋模型実験 66
 線形化たわみ理論 15, 20
 線形化有限変位解析法 24
 線形化有限変位理論 25

センターステイ 41
 全ヒンジ工法 131
 全ラグランジェ定式化 23
 ソケット 87

—— た ——

耐荷力実験 42
 第2ボスボラス橋 34, 38, 112, 127
 ダイバージェンス 63
 耐風対策 66
 大ブロック架設 133
 縦桁直結軌道 33
 縦桁の連続化 32
 タワークレーン工法 112
 タワーステイ 40
 タワーリンク 35, 40
 たわみ理論 14, 16, 18, 19
 単材架設工法 126
 弾性座屈解析 25
 弾性分配法 21
 弾性理論 16, 18, 19
 弾塑性有限変位解析 47
 端面の切削 97
 逐次剛結工法 27, 131
 逐次剛結無ヒンジ工法 132
 吊構造部 31
 吊材形式 58
 吊材定着部 38
 吊材の引込み 134
 吊材ブラケット 39
 吊橋完成系 27
 鉄筋コンクリート床版(RC床版) 31
 点検調査 138
 点検補修用作業車 60
 塔柱埋込形式 48
 塔頂サドル 49, 58
 動的応答解析 73
 動的解析 69
 道路鉄道併用吊橋 32, 34, 40, 99
 十綱橋 4
 トラス形式 33, 34
 トラベラークレーン工法 127

—— な ——

南海大橋 5, 113
 ねじり解析法 22
 ねじり振動 23
 ねじれフラッター 64

—— は ——

パイロットロープ 107, 116
 白鳥大橋 7, 34, 41, 43, 48, 49, 112, 127
 箱ヶ瀬橋 6
 箱桁形式 34
 発散振動 63
 パテンティング 85, 86
 原口忠次郎 6
 ハンガーの引込計算 28
 ハンガーロープ 124
 汎用クレーン工法 112
 非線形解析法 23
 引張ボルト接合 50
 平戸大橋 6, 113, 127, 129, 132
 疲労強度 54
 疲労設計 36
 風洞実験 65
 プレハブストランド工法(PS工法) 4, 53, 55, 84, 85, 106, 122
 フローチングクレーン工法 112, 128
 ブロック架設工法 127
 閉合 134
 平行線ケーブル 51
 平行線ストランド 53, 87
 偏平箱桁断面 15
 ホーリングシステム 117
 補剛係数 20
 補剛桁 34

—— ま ——

膜理論 15, 16
 曲げねじれフラッター 64
 マタディ橋 50, 78, 109, 112
 マトリックス変位法 18

マルチセル構造 92
 南備讃瀬戸大橋 6, 29, 32, 34, 35, 39, 40, 41, 42, 111, 112, 127, 133
 美濃橋 4
 無補剛吊橋 16
 メタルタッチ 50, 97
 面外座屈 46
 面材架設工法 127
 面内座屈 46

—— や ——

山里の吊橋 4
 有限変位解析法 23
 有限変位理論 15, 23
 有効座屈長 46
 有効接線弾性係数法 46
 床組 31
 横たわみ振動 23
 横トラス 33
 横フレーム 33
 横方向水平荷重に対する面外解析法 21
 撚り線ケーブル 51

—— ら ——

ラーメン形式 33
 ラッピング 124
 離散吊材理論 18
 リフティングクレーン工法 128
 流線形箱桁断面 61, 68
 レインボーブリッジ 7, 32, 33, 34, 41, 42, 73, 109, 113, 127
 連続形式補剛桁 34
 連続補剛桁 41
 ロックドコイルロープ 53

—— わ ——

ワイヤー 54
 — 継手 55
 若戸大橋 5, 29, 33, 34, 55, 70, 78, 84, 94, 127, 128, 129

英文索引

- Ammann 3, 4
 AS 工法 4, 14, 53, 55, 85, 105, 121
 Baker 20
 Benjamin Franklin 橋 3
 Bernoulli 13
 Bethlehem Steel 社 84, 106
 Birdsall 44, 46
 Bleich 15, 20, 22, 23, 64
 Bosphorus 橋 4, 34, 43, 48, 50
 Brooklyn 橋 3, 14, 40, 84, 105, 107
 Brotton 18
 Brown 2, 13, 83
 Bronx-Whitestone 橋 3, 40, 61
 CFRC 型 53
 Cincinnati 橋 2, 14
 Davenport 63
 Delaware Memorial 橋 93, 132
 Ellet 2, 13
 Ellis 22
 Farquharson 61
 Finley 2, 13
 Forth Road 橋 4, 31, 34, 42, 48, 50, 56, 92, 93, 110, 113, 129
 George Washington 橋 3, 42, 93, 109, 110, 113
 Golden Gate 橋 3, 14, 31, 42, 56, 70, 78, 93, 110, 113
 Great Belt East 橋 4, 34, 40, 41
 Humber 橋 4, 15, 34, 38, 42, 56, 127
 Jacob's Creek 橋 2
 John Roebling 2, 13, 84, 105, 107
 Köln Deutz 橋 5
 Köln Rohdenkilchen 橋 14
 Leonhardt 14, 36
 Little Belt 橋 4, 15, 55, 68
 Mackinac 橋 3, 4, 31, 93
 Manhattan 橋 3, 14, 42, 103
 Melan 16, 19
 Menai Straits 橋 2, 13, 83
 Moisseiff 3, 14, 18, 21
 Navier 13, 16
 New Tacoma Narrows 橋 3, 4, 61, 64
 Newport 橋 4, 55, 84, 106
 Newton-Raphson 法 24
 Niagara 橋 2, 13, 40
 Oakland Bay 橋 3, 70, 111
 Peery 15, 21
 Portsmouth 橋 54
 PS 工法 4, 53, 55, 84, 85, 106, 122
 Pugsley 15, 18
 Rankine 16
 RC 床版 31
 Ritter 14
 Seguin 兄弟 2, 84
 Severn 橋 4, 15, 34, 36, 38, 44, 48, 49, 50, 61, 68, 93, 110, 127
 St. Antoine 橋 84
 Steinman 20, 41
 Tacoma Narrows 橋 3, 4, 12, 15, 29, 32, 61, 64, 68
 Tancarville 橋 4
 Tay 橋 61
 Telford 2, 13
 TMD (Tuned Mass Damper) 67
 Turner 18
 Union 橋 2, 13, 83
 Verrazano Narrows 橋 4, 55, 92, 93, 110, 113, 127, 129
 Vicat 2, 14, 105
 Wheeling 橋 2, 61
 Williamsburg 橋 3, 42, 139

鋼構造シリーズ⑧

吊橋—技術とその変遷—

平成8年12月20日 第1版・第1刷発行

●編集者——〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地

土木学会鋼構造委員会
鋼構造進歩調査小委員会
委員長 三浦邦夫

●発行者——〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地

社団法人土木学会 河野 宏

●発行所——社団法人土木学会

〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地
電話・03-3355-3444(出版) 03-3355-3445(販売) FAX・03-5379-2769
振替・00140-0-763225

●発売所——丸 善(株)

〒113 東京都文京区本郷2-38-3
電話・03-5684-5571(営業部) FAX・03-5684-2456

©JSCE 1996 / 吊橋—技術とその変遷—

印刷=(株)平文社/トレース=(有)巧芸社/造本意匠=海保 透

ISBN4-8106-0172-2 C3051 P11330E

ご注意：当該出版物の内容を模写したり他の出版物へ転載するような場合は、
必ず土木学会の許可を得てください。